

霊の賜物の発見

◆霊の賜物に関する新約聖書の探究

- 第一部 もてなし、ローマ二二章
- 第二部 勧告、コリント第一・二二章
- 第三部 教え、コリント第一・一二章、エペソ四章
- 第四部 知識、殉教、見分ける力(洞察)、信仰
- 第五部 慈善、知恵、指導、牧会(羊を養う)
- 第六部 伝道、助け(奉仕)、使徒、寄付
- 第七部 行政管理、とりなし、外国伝道(宣教)、預言

著者、ロイ・C・ネイデン

(アンドリウス大学宗教教育部準教授)

発行所

世界総会チャーチ・ミニストリー部

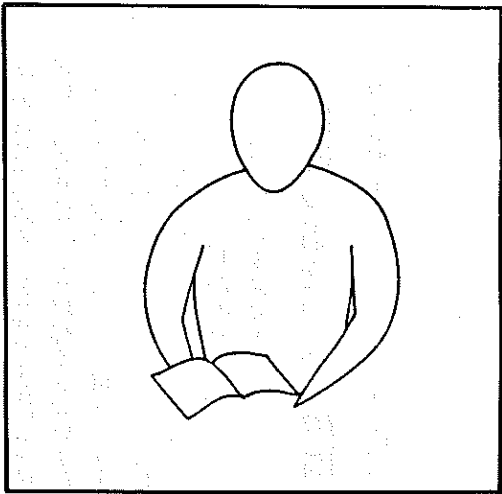
翻訳・発行

セブンスデー・アドベンチスト教団

第六部

伝道の賜物

「彼は高いところに入った時、……人々に賜物を分け与えた。
……そして、彼は、……ある人を伝道者とし、」(エペソ四
ノ八一―二)。



1、原語の意味

ギリシャ語では「伝道者」と「伝道」は二つの言葉に由来しています。はじめのユーは「良い」を意味し、あとのアンゲリオンは「発表」を意味します。したがって、それを合わせた語句は、「良い知らせを伝えること」です。しかしながら、聖書の中では、名詞は通常「福音」と訳され、動詞は「説教する」と訳されています。

2、行為に表された伝道

聖書の中では、ピリポだけが「伝道者」の称号を与えられています。そして、賜物を与えられた伝道者の大半がそうであるように、彼もその働きをしながら多く旅をしました。ルカは、ピリポの召しは彼を広い範囲の人々との接触到導いたと記録しています。

エチオピアの収入役の将来の道を知って、み使いはピリポをエルサレムからガザへの主要道路を旅するよう導きました。言いつけに従ううち、間もなく彼は、二輪馬車に乗って西方へ旅しているエチオピア人に出会いました。彼はエルサレムで礼拝をしてきたばかりで、その機会に恵まれたことをなおも喜んでいました。彼は帰途の旅路の多くの時を、預言者イザヤの書を読んで過ごしていました。

二輪車に近づいて、ピリポは、すばらしく魅力のある態度で、「その言葉の意味をご存知ですか」と話しかけました。収入役は、あまりはつきり理解できないと白状して、手伝ってくれるようピリポを二輪馬車に招き入れました。短時間のあいだにピリポは、イエス・キリストを受け入れるようエチオピア人を導きました。そして、その献身の証拠として、彼にバプテスマをほどこしたのです。

3、伝道の賜物の五つの面

次にあげる聖句は、(エペソ二ノ八を除いて)すべて、接頭語ユーカタもしくはディアのついたアンゲリオン「発表」を用いています。

- a 伝道の賜物を持つ者は、未信者の人たちの利益のためにそれを働かせる(ガラテヤ一ノ一六、エペソ三ノ八一一〇)。
- b 伝道の賜物は、我々の代理人、主イエスの死とよみがありに焦点を合わせて、それによって、救いが信仰による恵みによって提供されることを示す(使徒行伝一七ノ二、三、エペソ二ノ八)。

6、デイスカッション

a ある調査研究によれば、教会のおよそ一〇パーセントが伝道の賜物を与えられているだろうと思われれます。あなたは、教会のおよそ十分の一が、魂を導いて主を受け入れさせ、教会のメンバーにさせる働きに従事していることに気づいていますか。地域への伝道において用いられてうまくいく方法は何でしょうか。

b あなたは次のうちのどれが教会の最も大きな必要であると思えますか。(1)、本職の伝道者の時たまの訪問でしょうか。(2)、地方教会の伝道協議会が後援する、年一度の伝道プログラムでしょうか。(3)、信徒伝道者たちの働きでしょうか。(4)、以上のいくつかの組み合わせでしょうか、説明してください。

7、伝道の賜物の確認

もしもあなたがこれを自分の賜物と考えるならば、次にあげるいくつかの質問と提案を考えてください。あなたは、バスや、電車や、飛行機の中で、気やすくだれかと会話を交わしますか。あなたは、なにげない会話を霊的テーマに変えるのが容易ですか。あなたは、たいいていのこと

c 伝道の賜物の行使は、世界中の都市や町々における説教も含むが、最終的には、主を分かつて一対一の出会いに焦点を合わせている(使徒行伝八ノ三五、一四ノ二一、ルカ九ノ六〇、黙示録一四ノ六、マタイ二四ノ一四)。

d 本当の伝道の賜物は、バプテスマによる主の家族への仲間入りをもたらす(使徒行伝八ノ一二)。

e 伝道の賜物を持つ者は、それを定期的に働かせる(使徒行伝五ノ四二)。

4、定義

伝道 「福音を分かち、人々を主イエスに献身させ、信頼できるメンバーとして教会と結びつける霊の賜物。」

5、賜物の誤用

決心を求めらるにあたって、聖霊の嘆願に頼るよりも、むしろセールスマン的テクニックを用いることもあり得ます。また、もしも新しい回心者を育てるための計画を立てないならば、その伝道者は無責任ということになります。

よりも、イエスの愛を分かち、個々の人々に救い主としてのイエスを受け入れることを求める方が楽しいですか。あなたは肯定的な応答を予期しますか。あなたはしばしば肯定的な応答を受けますか。あなたはほとんどの週に主を証ししながらいくらかの時を過ごしますか。あなたは、聖書を開いて、関心を持ってくれる人々に聖書の真理を分かつことが楽しいですか。あなたは、聖書の救いのメッセージを明確にして、手ほどきを受けていない人々にとって興味深いものにすることができますか。



助け(奉仕)の賜物

「神は教会の中で、人々を立てて、……また補助者、……を置かれた」(コリント第一・二二ノ二八)。

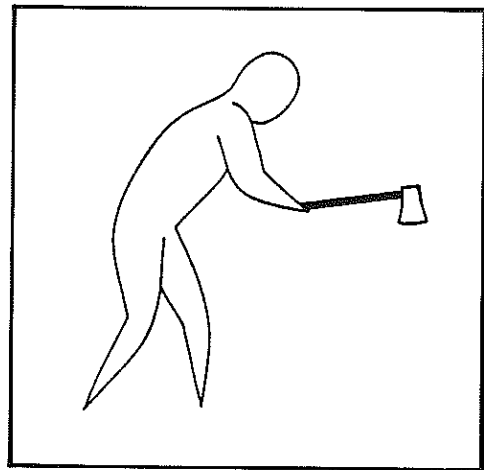
1、原語の意味

助けの賜物を言い表すにあたって、パウロは、コリント人への第一の手紙の中ではある言葉を、また、ローマ人への手紙の中では別の言葉を用いています。しかし、その二つは、同じ意味を持っています。コリント人への手紙の表現は二つのギリシャ語に由来します。“opposite”「向こう側の」を意味するはじめのアンティと、“to take”「持っていく」あるいは“to take together”「いっしょに持って行く」を意味するあとのランバノマイです。ですから、その意味は、「何かを両端でいっしょに持ち上げる」あるいは、「手助けする、だれかが荷物を運ぶのを助ける」ということになります。ローマ人への手紙の中では、その語は、英語の単語“deacon”と同じで、通常“minister”「牧師」と訳されか、動詞形の“to minister”「奉仕する」または“to serve”「奉仕する」と訳されています。しかし、この名詞形には、非常に幅の広い意味があります。

2、行為に表された助け

ヨセフにとって、その週は非常につらい一週でした。報告は絶えず議会に提出され、新しい事実が分かるにつれて議員たちはますます憤慨しました。ついに彼らは行動することにし、カリラヤの大王によって引き起こされた騒動を、それを限りに鎮めようとなりました。ヨセフはイエスに関するまじがった証を聞いて、気分が悪くなりました。彼らはどこまで低劣なことをやるのだろうか。どんなにか彼は立ち上がって、イエスこそ約束された救世主であると叫びたかったことでしょう。しかし、彼はその強い衝動を抑えました。彼はあくまで議会の行動には同意せず、イエスの処刑のために投票することは拒否しました。

少し離れて、救い主のまわりを支えるように囲んでいる私たちの近くで、彼は、イストラエルの希望であるお方が十字架にかかっているのを見つめました。数分が何時間にも感じられました。雷鳴、いなびかり、そして地震が、多くの人々を恐怖のうちに立ち去らせました。しかし、彼は、その女たちと同様に自分の場所に立ち続けました。彼は、日没まで待つて何かをはじめのつもりでした。議会が、安息日にエルサレムの周辺で犯罪者たちが十字架にかけられるのを許すはずはありません。しんぼう強く待つていれば、チャンスは来るは



第五部では、牧師の公職と、「羊を養う」賜物とを区別しました。同じように、聖職と助けの賜物とは必ずしも一致しないことを理解しなければなりません。言いかえれば、あなたの集会で聖職についている人は、助けの賜物を持っていることもあれば、持っていないこともあるのです。このことは聖職者としての召しにとつて、プラスとなったりマイナスとなったりするわけではありませんが、牧師職におけるその人のアプローチの仕方に影響を与えることにはなりません。

ずでした。そして、それは、予期したよりもずっと早くやって来ました。午後半ば過ぎた頃、彼は「すべては終わつた」という苦悩の叫びを聞きました。そして、すべてが静まり返りました。彼は、兵士が主の脇を槍で突くのを見つめました。主の体は微動だにしませんでした。ヨセフはすべてが終わつたことを知りました。

ヨセフは急いでピラトの宮殿へ行くと、遺体を埋葬してもいいかたずねました。許可が与えられると、彼は急いでゴルゴタの丘のつべんに戻り、主の両手両足から愛情を込めてくぎを引き抜きました。そして、まだやわらかな遺体をリネンのシートにくるみ、近くにあって自分の個人用の岩を切り開いた墓へおごそかに運びました。助けの賜物に恵まれていたヨセフには、最後の特権、すなわち、死んだイエスの世話をした人として福音書の中にその名をしるされるという特権が与えられたのです。

3、助けの賜物の五つの面

次にあげる聖句のうち、aとbとeはディアコノス「しもべ」を用い、dはディアコノスとランバノーを用い、cは同義語を用いています。

a 助けの賜物の働きは、人々が人間ではなく神を賛美す

るよう導く（コリント第二・九ノ一二、一三）。

b 助けの賜物を持つ人々は、人々に奉仕するが、これはわれわれが主に奉仕するのと同じである（ヘブル六ノ一〇、マタイ二五ノ三一―四六）。

c 助けの賜物を持つ人は、他の人々がその賜物を働かせるのを妨げるような細かい事からや責務を、喜んで和らげる（使徒行伝六ノ二、四、一三ノ五）。

d 助けの賜物によってなされる仕事は無数の種類がある。例えば、食事の奉仕、しいたげられている人々の援助、刑務所にいる人々の訪問など（使徒行伝六ノ二、三、二〇ノ三五）。

e 助けの賜物は、どんな社会経済的なグループの人々によっても働かせることが可能である（ルカ八ノ二、三、ローマ一六ノ一、二）。

4、定義

助け 「個人や、集団や、全体のために、時にはいやしい仕事であっても、援助の働きを楽しく行う、霊の賜物。」

すか。ある計画を指導するよりも、仕事の割り当てを受ける方が、あなたにとって容易ですか。どのような仕事の割り当てであるかということは、あなたにとって問題となりますか。あなたは、どんな必要があるかということを確認してから、それを行うほうが容易だと思いますか。

教会の掲示板を出すこと、子供たちの部屋を掃除すること、教会堂を開けること、年老いた未亡人のためにまきを割ること、月々のニュースレターを封筒に入れること、交通機関のない家族を拾って、彼らを教会へつれて来ること、これらは、私たちが助けの賜物を働かせることのできる数限りない方法のうちほんのいくつかにすぎません。

5、賜物の誤用

責任のある地位にある人々は、他の人の働きを自分の手柄にすることによって、部下を利用することがあります。また、時には、クリスチャンは、主のために事を行うのに余りにも忙しいとほめかして、聖書を学ぶという極めて重要な仕事から退いたりします。

6、デイスカッション

a 助けの賜物を持つ者が、教会でその賜物を働かせるために、どんな奨励を受けるでしょうか。その仕事の大半は、すでに有給の掃除のおばさんたちによって処理されているでしょうか。

b あなたの教会において信徒の育成と地域伝道促進のために、助けの賜物を持つ者は、どのような仕事を割り当てられるべきでしょうか。

7、助けの賜物の確認

もしもあなたがこれを自分の賜物であると考えたら、次にあげる質問と示唆を考えてください。ある計画を援助することを頼まれるのを、あなたは喜びま



使徒の賜物

「神は教会の中で、人々を立てて、第一に使徒、……をおかれた」(コリント第一・二二ノ二八)。

1、原語の意味

ギリシャ語のアポストロスは、「使いの者」とか「他の人の代理人」という意味です。動詞は、「活動に派遣する」とか、「伝言をする」という意味です。したがって、新約聖書の意味は極めて平明で、「使徒とは、特別な伝言をたずさえて伝道に派遣される者」ということになります。

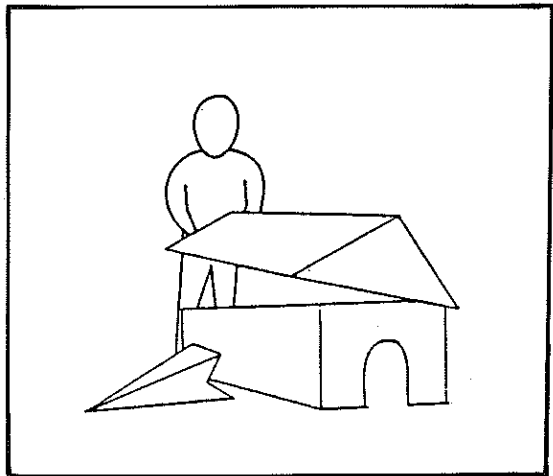
使徒の賜物についてはかなりの論議が交わされてきました。ある人々は、この賜物は一二使徒で終わったと主張しています。いやそれは継続していると言う人もいます。この賜物が、最初の一二使徒、さらにユダの自殺のあとに再構成された一二使徒の時代を過ぎても継続しているという新約の証拠は、次のような事実の中に見られます。

a パウロ、バルナバ、テモテは、使徒と呼ばれた(ローマ一ノ二、使徒行伝一四ノ一四、テサロニケ第一・一ノ一、二ノ六)。

c 使徒的賜物がもはや有効でないならば、偽りの使徒たちに対する警告は、ほとんど適切ではなかったということになるだろう(黙示録二ノ二、コリント第二・一一ノ一三)。

2、行為に表された使徒精神

それは独特の会議でした。そのようなものはかつて催されたことがありませんでしたし、それとそっくりの会合が再び催される可能性もありませんでした。討論が終わったとき、決心がなされました。集まった人たちの一人は、天父の愛と守りの真実の物語を伝えに行かなければなりませんでした。彼らの一人は、犠牲を払って家を離れなければなりません。しかし、他の人々の十分な支持をまちがいなく知っているのです、たとえ何が起ころうと平気でした。決心を変えるもの何もありませんでした。彼らはみな、取り消しはできないというくらい、そのことにゆだね切っていたのです。それで、派遣された者は使徒……文字通り使徒、完全無欠の使徒になりました。パウロは次のように描写しています。「そこで、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たちよ。あなたがたは、わたしたちが告白する信仰の使者また大祭司なるイエスを、思いみるべきである。彼は、モーセが神の家の全体に対して忠実であったように、自分を立てたかたに対して忠実であら



b 主の復活のあと主を目撃した者たちの大きな数を描写した中で、パウロは一二使徒について述べ、そして「次に、すべての使徒たちに現れ」と付け加えている。これは明らかに、これらの使徒たちを一二使徒のほかのグループと見なしてのことである(コリント第一・一五ノ五―一七)。

れた」(ヘブル三ノ一、二)。そして、ヨハネはこう付け加えました。「わたしたちは、父が御子を世の救主としておつかわしになったのを見て、そのあかしをするのである」(ヨハネ第一・四ノ一四)。

したがって、イエスは、真の使徒の最もすぐれた模範なのです。イエスは、天父の愛と人類一人一人に対する心配りの大きさを明らかにし、それをめつたに誤解されたり否定されたりすることのない方法で明らかにされました。イエスは、この時代の終わりにおけるみ子のご再臨にあたって、天なる父に加わるための人類一人一人の側の個人的献身をさがし求められたのです。

3、使徒の賜物の五つの面

次にあげる聖句の中で、aとcとdは、アポストロスという言葉を指し、bとeは、使徒およびその働きに言及しています。

a 新約の組織における使徒は、ユダヤ人たちが神のお告げを守る責務を与えられていた旧約の時代と同様に、神の真理の守護者である(使徒行伝二ノ四二、一六ノ四、一五ノ一―三、五、ローマ三ノ二)。

b 使徒の賜物を持つ者は、信者のいない地域で教会をおこすためにつかわざれることがある（使徒行伝一三ノ一―一三、ローマ一五ノ二〇、マタイ一〇ノ一六、ヨハネ一七ノ一八）。しかし、それは必ずしも、第七部の中で伝道の賜物に関連して論じられているような、他の国や他の文化の中においてではない。

c 使徒の賜物を持つ者は、地方教会の新しい指導者の接手や財政上の管理などにはしばしば関与する（使徒行伝四ノ三七、五ノ一、二、六ノ六）。

d 使徒になるべき賜物を与えられている者の働きは、聖霊によって授けられてはいるが、やはり、教会の承認を受ける（使徒行伝九ノ二六―三〇、参考一三ノ一―四）。

e 本物の使徒の賜物を持つ者は、新しい教会をおこすのと同様に、信徒の育成にも関係している（使徒行伝一八ノ一一）。

4、定義

使徒 「神のご命令により、教会から明確に承認された方法で、先駆者となり、神のために組織化された教会をおこし、

まいの模範を示したいという願望を置かれましたか。あなたは、そのような活動を試みて成功したことがありますか。あなたは、教会の財政的援助がなくても、喜んでそのような働きを引き受けますか。神はあなたの心に、どこか特別な場所を神のみ働きを確立したり強化することを始めるといふ重荷を置かれたことがありますか。

地方の指導者を定める、霊の賜物。」

5、賜物の誤用

もしも誤って用いられた場合、人は、自分は主から直接的な指示を受けた使徒であると主張し、教会の組織や教会員と対抗して働くこともあり得ます。

6、デイスカッション

今日教会の中で「使徒」の称号や地位を見出すことはまれです。もしあるとすれば、我々の宗派の中でどのような地位が使徒に最も近いと思えますか。その賜物は十分に説明されていますか。あなたはそれをあなたの教会の会員の中に見ますか。それはどんなところにですか。

7、使徒の賜物の確認

もしもあなたがこれは自分の賜物であると考えるならば、次にあげる質問と示唆を考えてください。

あなたは、一人も教会員がいない地域で新しい教会を開きたいという気持ちに駆られますか。神はあなたの心に、教会を組織したいとか、指導者の任務を定めたいとか、福音を進めるための戦略を立てたいとか、教会の財政のめんどうを見たいとか、聖書の教えを支えたいとか、クリスチャンのふる

寄付の賜物

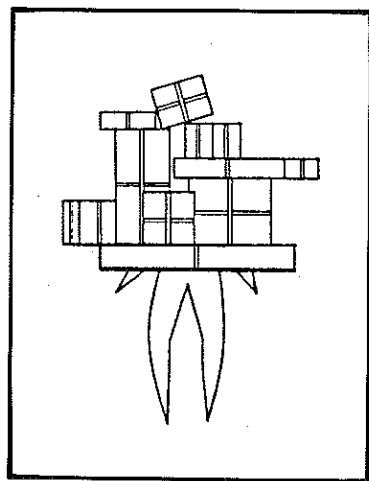
「わたしたちは与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持つているので……寄付するものは惜しみなく寄付し……」(ローマ二ノ一六―一八)。

1、原語の意味

パウロがローマ人への手紙二一章で用いているメタデイドミのメタは「――一緒に」という意味で、デイドミは「与える」とか「供給する」という意味です。この特別な言葉は、新約聖書のなかではたった七回しか用いられていませんが、基本語の「与える」は、何百回も用いられています。したがって、この賜物の意味を調べるための証拠は十分にあります。

2、行為に表された寄付の賜物

彼女がイエスを愛していることには、りっぱな理由がありました。イエスは彼女をありのままに受け入れましたし、彼女はそれほどまでに無条件の愛をかつて知りませんでした。それまでの交友には、何らかの種類の代償や支払い、わながあったのです。イエスには隠された事柄はありませんでした。ある晩、裕福な名士シモンの家でイエスに敬意を表してパ



―テイが行われていたとき、彼女はうら口からこつそり中にはいました。その日は、興奮と不安がますます高まっていたような日でした。彼女は十分に計画をねり上げていました。命がけでためた貯金をはたいて、彼女は高価なナルドの香油を―びん買いました。そして、ようやく日が沈むと、通いなれたシモンの家への小道を歩いて行つたのです。ろうそくをともしたほの暗い部屋の中を隠れるようにして、彼女はイエスがすわっていると思われる場所を目がけてまっすぐに進みました。そして、イエスに対するやむにやまれぬ愛に動かされて、香油のびんを割り、イエスの頭と足に油をそそぎました。独特な香りで頭がくらくなりました。少なからぬ嫉妬をもって、ユダはこの感動的な光景におい

て一人の女が演じた行動を見ました。彼は、その香油はかなりの金額で売れるはずで、その収益はもつと恵まれない人々に配ることができたはずだと言って、マリヤの主への愛の犠牲的行為を汚辱しようとした。この奉仕はどんなむだな目的を持ったものでしょうか。

しかし、イエスはそれを認めることによってマリヤの体面を保たれました。彼女はいいことをしたのだとイエスは言われました。貧しい人々は常に皆のそばに在るけれど、イエスはそういうわけにはいかないのです。そして、イエスは、福音が宣べ伝えられるところではどこでも、マリヤの愛と犠牲的なささげものが語られるであろうと述べて、彼女の行為を記念されました。

3、寄付の賜物の五つの面

次にあげる聖句のうち、bとcとeのルカ一九ノ八はデイドミ「与える」を用いており、dとeのルカ二ノ一一―三は同義語を用いています。

a 寄付の賜物は、愛をもって働かされなければ価値がない (コリント第一・一三ノ三)。

b 寄付の賜物は、惜しみなく与えることを意味する (口

―マ二ノ八)。

c 寄付の賜物を与えられている人は、与えることを喜ぶ (コリント第二・九ノ一一)。

d この賜物を与えられている人は、犠牲的に与えることを要求されることもある (使徒行伝四ノ三六―五ノ一一)。

e 寄付の賜物は、金持ちの中にも貧乏な人の中にも見られる (ルカ一九ノ八、二ノ一一―三)。

4、定義

寄付 「困っている人たちに、定期的に、気持ちよく、喜んで寄付する、霊の賜物。」

5、賜物の誤用

寄付することを神に対してよりよい立場を得るための支払いと考えるとき、あるいは、寄付する者が、気前よく与えることをしない他の者に対して批判的になるとき、また、贈り物が地位や政治的支援を得るためになされるとき、この賜物はゆがんだものとなります。

6、デイスカッション

a 教会員たちが什一や献金を忠実にすると、寄付の賜物はなくなってしまうとすれば、それは教会にどのような影響を及ぼすと思いますか。

b 寄付の賜物は主として物を寄付する能力でしょうか、それとも自分自身を与える能力でしょうか。

7、寄付の賜物の確認

もしもあなたがこれを自分の賜物と考えるならば、次にあげる質問と示唆を考えてください。

あなたは、困っている人を見るとほうっておくことはできないと強く感じますか。あなたは、自分自身の必要よりもむしろ他の人の必要を満たそうと思えますか。ある訴えに応えることができるように、自分の欲しいものをなすませる傾向がありますか。あなたは、さまざまな慈善事業や、組織や、自分の信じる目的のために、定期的に寄付をしますか。だれかに恵みをもたらすような品物を手ばなしたとき、あなたは深い喜びを見い出しますか。教会員の人たちはあなたを、常に困っている人たちに与える人として認めますか。

予習

学習ガイド第七部はこのシリーズの最後の部です。そして管理と取りなしと、伝道奉仕と、預言の賜物のことを探究します。論じられる予定の事がらには次のようなものがあります。

- ・ 伝道奉仕はどこが賜物として論じられるでしょうか。
- ・ 預言は今日のための賜物でしょうか、それとも、単に聖書の著者たちや大きな教会の指導者たちのための賜物でしょうか？
- ・ 取りなしも賜物のリストの一つでしょうか。
- ・ 預言者と、牧師と、使徒と、管理者は、どうすれば皆一致して共に働くことができるでしょうか。これらの賜物は本質的に重ならないでしょうか。